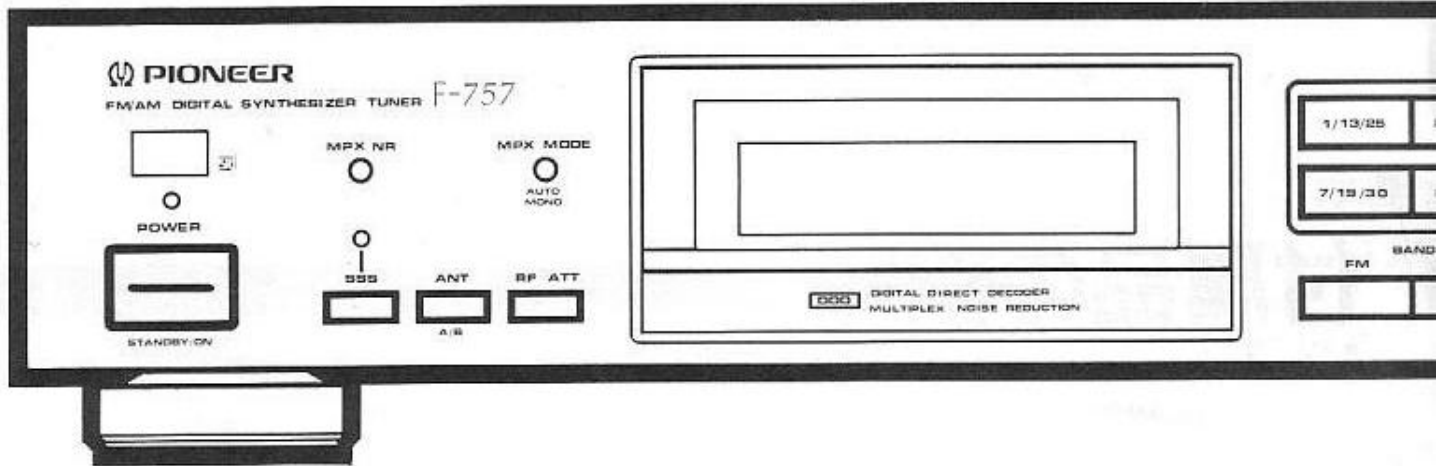


取扱説明書

F-757

FM/AMデジタルシンセサイザーチューナー



お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、
保証書などと共に大切に保管して下さい。

PIONEER
— 音と光の未来をひらく —

目 次

付属品の確認	2
設置について	2
特長	3
リモコンに電池を入れる	3
接続	4
名称と機能	6
操 作	
FM/AM放送をきく	10
FM/AM放送のプリセット選局	12
故障?と思うまえに	14
アフターサービス	15
安全にお使いいただくために	15
仕様	16

付属品の確認

- FM T字型アンテナ



- リモートコントロールユニット



- 保証書

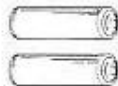
- サービスネットワーク

- 取扱説明書

- AMループアンテナ



- 単4乾電池2本
(AAA/R03 /UM-4)



- ピンプラグ付接続コード



- 変換プラグ



設置について

高温・多湿を避けて、風通しのよい場所へ

直射日光のあたる所やストーブなどの暖房器具のそばに置かないでください。キャビネットや内部部品に悪影響を与えます。また、湿気やホコリの多い場所へ置くと、故障や事故の原因に

なります。(また調理台のそばなど、油煙、蒸気、熱が当たる場所も避けてください。)

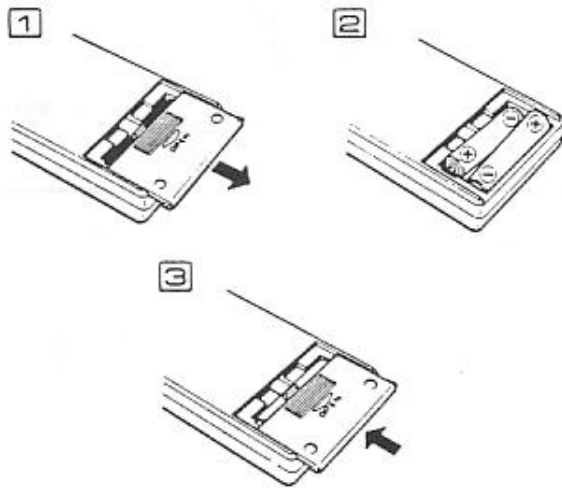
特長

- NORMALとSUPER NARROWのIFバンド切換ボタン。
- デジタルダイレクトデコーダー (D.D.D.) の採用による高S/N。
- FM電波が強すぎる場合でも、適正な受信ができるようにRFアッテネーターを内蔵、ボタン操作でON/OFFが可能。
- FM・AM合計36局までプリセット可能。

- 振動減衰特性のすぐれたハニカムシャーシを採用。
- 大型インシュレーター。
- FMステレオ放送の雑音を減少させるマルチブレックスノイズリダクションを内蔵、ボタン操作でON/OFFが可能。
- モノラル放送を疑似ステレオとして出力するスペクトラムシミュレーテッドステレオ (SSS) 機能。

リモコンに電池を入れる

- ①リモコンの裏側の電池ケースのふたを開けます。ふたを押しながら矢印方向に引くと開きます。
- ②付属の単4乾電池 (R03 UM-4) 2本を取出し、電池ケースの表示にしたがって電池ケースに入れます。
- ③電池ケースのふたを閉めます。

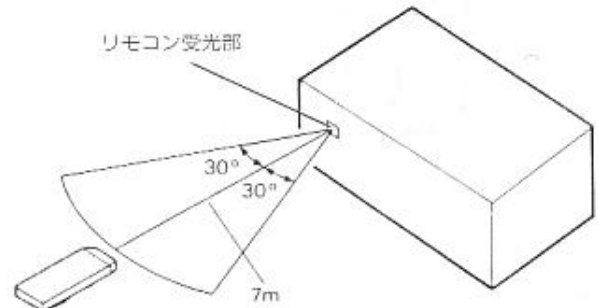


乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂するなどの危険があります。次の点について特にご注意ください。

1. 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通り正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

リモコンの操作可能範囲

リモコン受光部から約7m、角度が左右に約30°以内で操作してください。



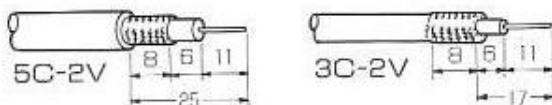
- 本体受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 長い間 (1か月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取出してください。

接続

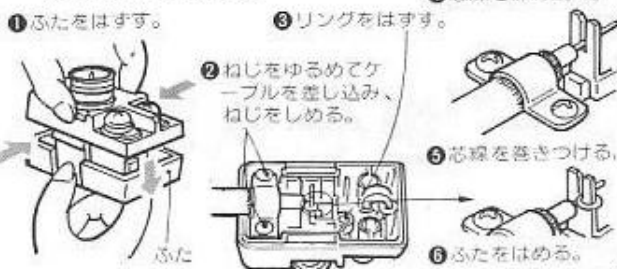
■付属のT字型アンテナ

1. 同軸ケーブルを下図のように加工する。(単位: mm)

- 外被をむいて芯線を出す
- 網線を外側に折り返す

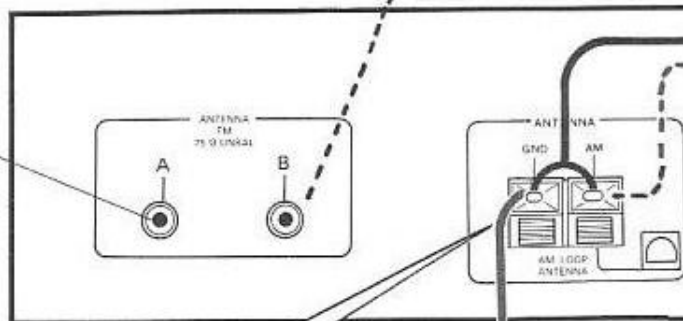


2. 加工した同軸ケーブルを下図のように付属の変換プラグに取り付ける。

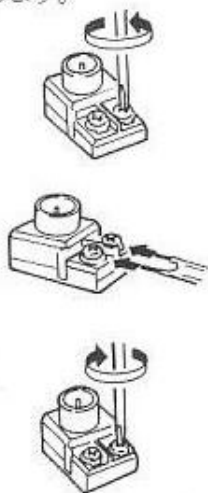


■FM屋外アンテナ

- 方向のちがう放送局の電波を受信するためにアンテナ端子を2個設けました。



付属のT字型アンテナまたは300Ωフィーダーを使うときは変換プラグに接続して75ΩUNBAL端子に差し込みます。



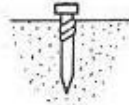
ループアンテナの接続

- ① 押し下げる
- ② 穴にコードを差し込む
- ③ 指を離す

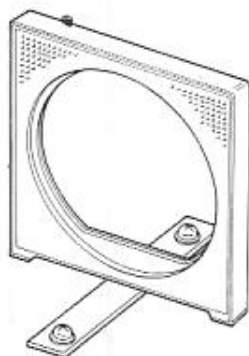


■アンテナアース

接続しなくても放送は受信できますが、FM屋外アンテナを設置したときは、雷の対策としてアースをしてください。
また雑音除去のためにもなるべくアースをすることをおすすめします。
※ ガス管には絶対に接続しないでください。ガスに引火することがあり危険です。



■AMループアンテナ



AM屋外アンテナ



- FM放送の特徴はAM放送と比べて音質の良いことです。そのFM放送の特徴をいかすには、FM専用アンテナを使用してください。電波の弱い地域では、電界強度に応じて多素子アンテナの3素子、5素子、7素子のアンテナを使用してください。

- 水平面上でアンテナをセットし、電波受信が最良となる方向に向けます。
- ボンネットの上やその他の金属物、CDプレーヤー、パソコン、テレビなどのそばにアンテナを置かないで下さい。

※アンテナをつながないとAM放送を受信できません。

●AM外部アンテナ

AMループアンテナの位置や方向を変えても放送が良好に受信できないときは、AM室内アンテナまたはAM屋外アンテナをAM端子に接続してください。AM室内アンテナまたはAM屋外アンテナを接続した場合も、AMループアンテナは必ず接続しておいてください。

※弊社のリモートコントロール信号の入出力端子です。弊社のSRマーク付きのアンプなどと組み合わせて、アンプに付属のリモコンユニットにより、本機の基本操作を行うことができます。詳しくはリモコンユニットの付属した製品の取扱説明書を参照してください。

F型プラグ

■電源コードの接続

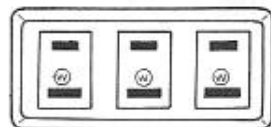
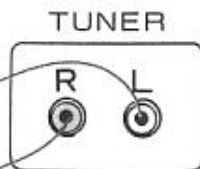
本機は電源の極性管理がされていますので、次の方法で接続することをおすすめします。白線側がアース側になっていますので、本機の電源コードの白線側と極性管理されたアンプのアース側、または家庭用コンセントの溝の長いほうに合わせて差し込みます。

- 本機の実出力端子とピンプラグ付き接続コードの端子は、音質重視設計のために、光沢のないスズを使用しています。

■ピンプラグ付き接続コードの接続

- 白いプラグは白い端子(L)に、赤いプラグは赤い端子(R)につなぎます。
- プラグは必ず奥まで差し込みます。

ステレオアンプ



白線側

名称と機能

マルチプレックスノイズリダクション ボタン

MPX NR

FMステレオ放送で雑音が多いときにこのボタンを押します。ノイズが低減され、聞きやすくなります。

MPX NR インジケータが点灯します。

※このボタンの設定状態は、ステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。

※マルチプレックスモードをMONOにしているときや、AM放送受信時にははたらきません。

マルチプレックスモードボタン (MPX MODE AUTO/MONO)

ボタンを押すごとに次のように変化します。

→ **AUTO** : ステレオ放送は自動的にステレオになります。
AUTO インジケータが点灯します。
 通常はこの位置にします。
 (電波がきわめて弱いときには、音を出さなくします。)

→ **MONO** : ステレオ放送も強制的にモノラルにします。
MONO インジケータが点灯します。

※このボタンの設定状態は、ステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。

※AM放送受信時にははたらきません。

リモコン受光部

付属のリモコンをここへ向けて操作してください。

電源スイッチ (POWER)/ インジケータ

電源ONのときインジケータが点灯します。

SSSボタン/インジケータ

(SSS : Spectrum Simulated Stereo)

モノラルをシミュレーテッドステレオ(疑似ステレオ)にするボタンです。押すとインジケータが点灯します。FM放送に雑音が多くてマルチプレックスモードをMONOにしているときや、AM放送を聞くときにこのボタンを押すと臨場感を増すことができます。

※このボタンの設定状態は、ステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。

※マルチプレックスモードをAUTOにしているときにははたらきません。

アンテナ切替ボタン (ANT A/B)

FM ANT A端子とB端子に接続した外部アンテナの選択をします。オペレーションディスプレイに選んだアンテナが表示されます。

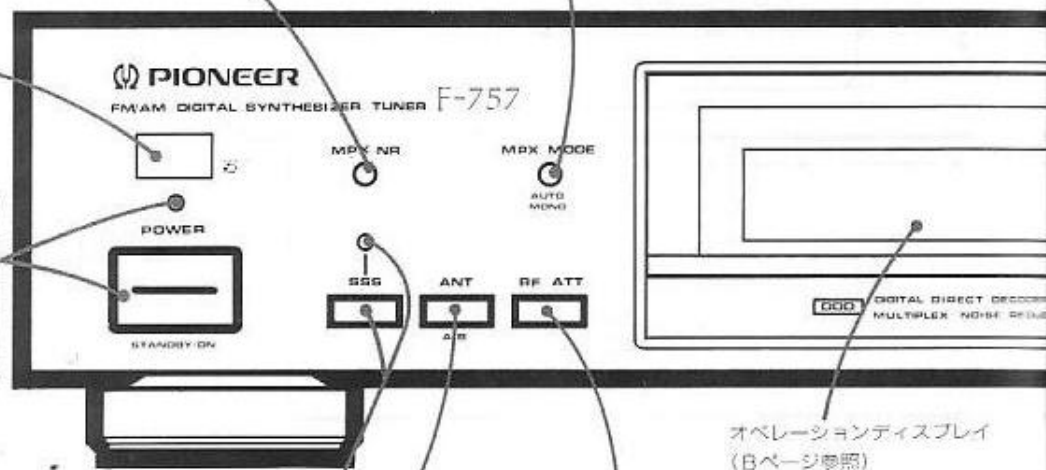
※このボタンの設定状態はステーションメモリーに放送局ごとにメモリーされます。

RFアッテネーターボタン (RF ATT)

FM放送の電波が強すぎて音がひずんだりするとき、このボタンを押します。

押すと **RF ATT** インジケータが点灯します。通常はこのボタンはOFFにしてご使用ください。

※このボタンの設定状態は、ステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。



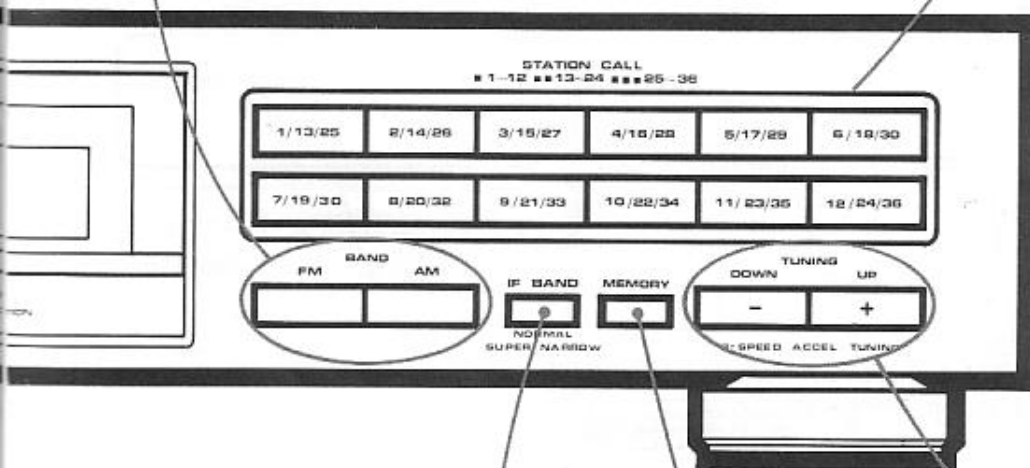
オペレーションディスプレイ
(Bページ参照)

バンド切換ボタン (BAND)

FM: FM放送を受信するときに押します。
AM: AM放送を受信するときに押します。

ステーションコールボタン (STATION CALL)

放送局をプリセットするときやプリセットした放送を受信するのに使います。(12ページ参照)



IFバンドボタン (IF BAND NORMAL/SUPER NARROW)

狭帯域受信 (SUPER NARROW) と広帯域受信 (NORMAL) を切換えます。

NORMAL または **SUPER NARROW** インジケータが点灯します。通常は **NORMAL** にしておきます。隣接局の妨害や混信があるときには **SUPER NARROW** にします。

※このボタンの設定状態は、ステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。

チューニングボタン (TUNING UP(+)/DOWN(-))

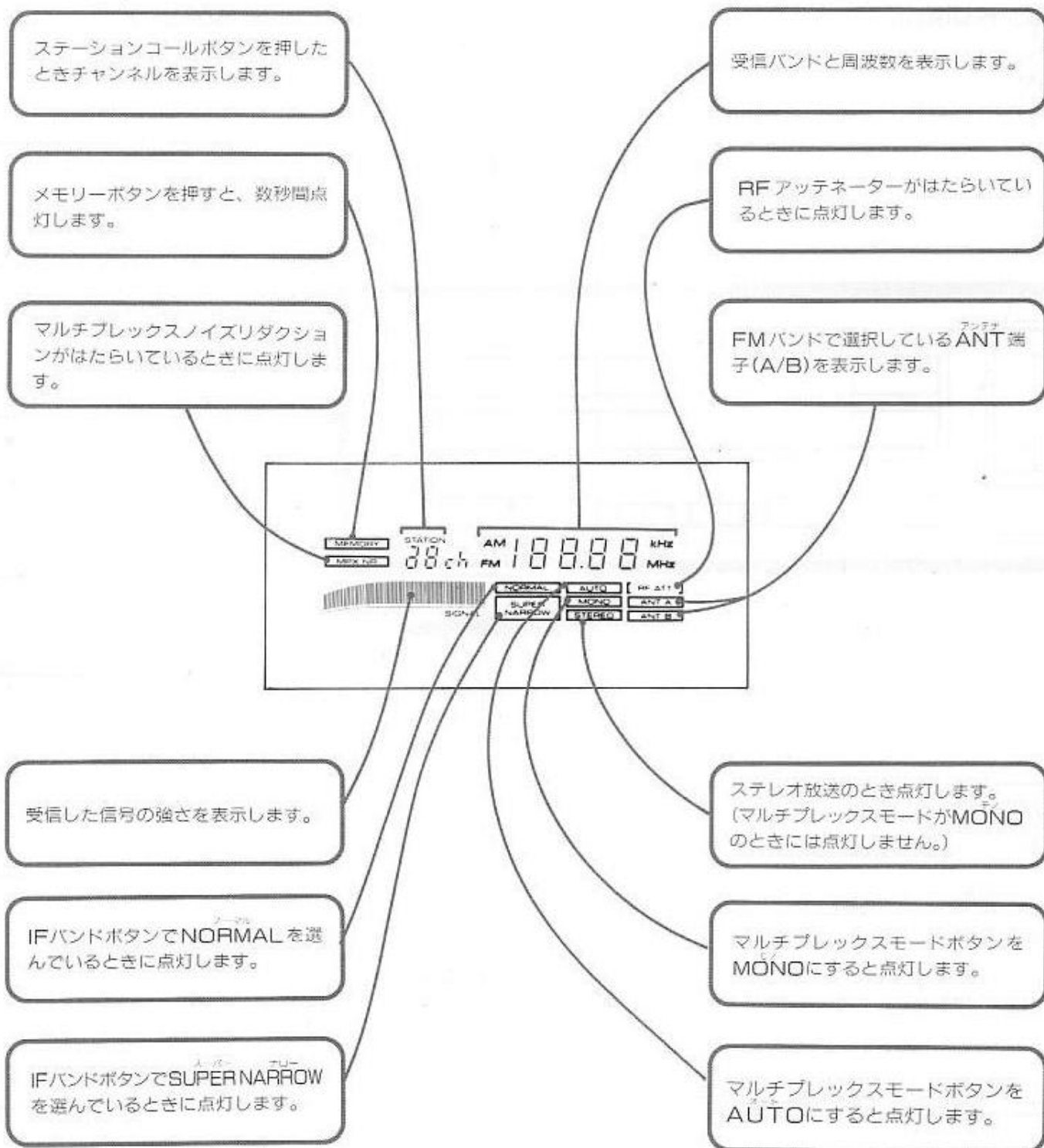
希望の放送局に合わせるときに押します。表示している周波数より高い周波数の放送局を受信したいときは、UP(+)を押します。表示周波数より低い周波数の放送局を受信したいときは、DOWN(-)を押します。

メモリーボタン (MEMORY)

放送局をプリセットするときに押します。押すと **MEMORY** インジケータが数秒間点灯します。その間にステーションコールボタンを押してメモリーします。

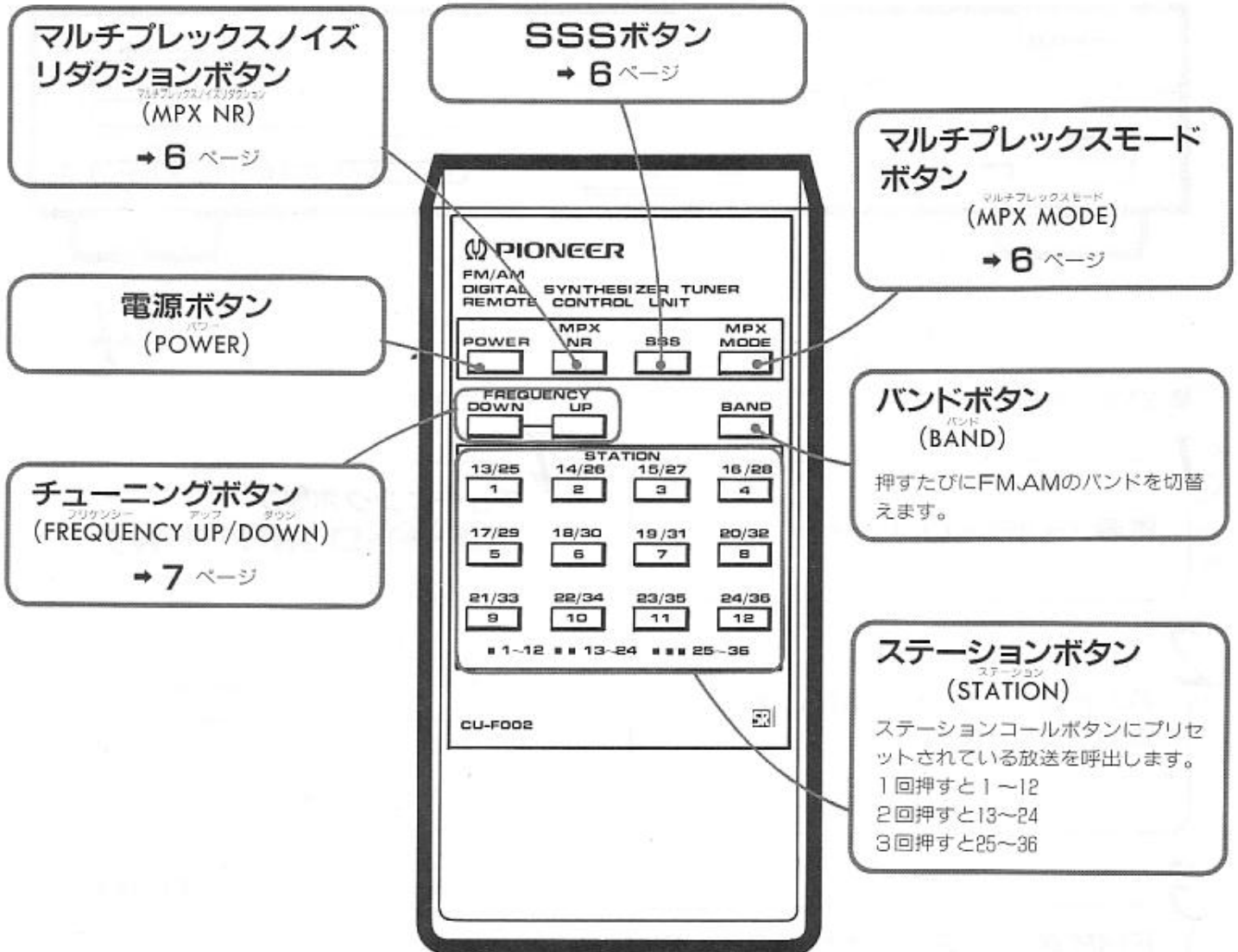
名称と機能

オペレーションディスプレイ



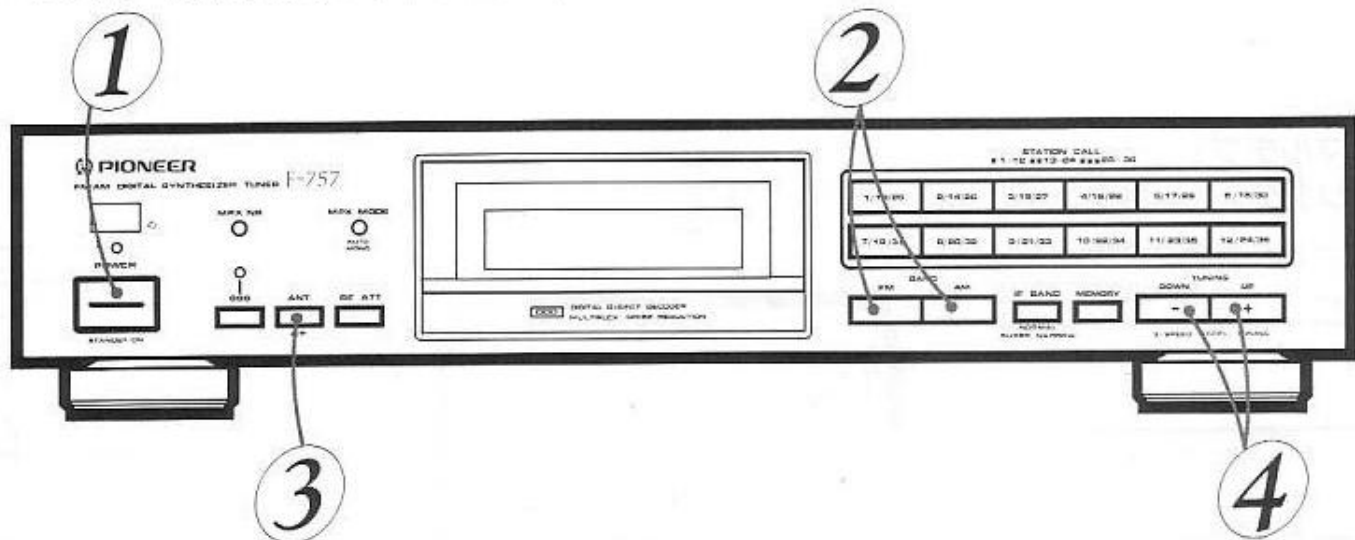
リモートコントロールユニット

説明のないボタンは本体の操作ボタンと同じ機能です。➡で示したページをご覧ください。



操作

FM/AM放送をきく



■数字の順に操作してください。①、②、④はリモコンでも操作できます。

1

電源スイッチをONにする

2

バンド切換ボタンでFMバンドかAMバンドを選ぶ

- FMバンドのときは“FM”と“MHz”が点灯し、AMバンドのときは“AM”と“kHz”が点灯します。

3

FM放送のときアンテナ切換スイッチで受信する局に向いているアンテナAまたはBを選ぶ

(使用しているアンテナが一つのときは接続している端子を選びます。)

4

チューニングボタン

のUP(+)**か**DOWN(-)を押す

スピード アキュラ チューニング
3-SPEED ACCEL TUNINGによるスピード1、2、3のチューニングができます。

●オートチューニング

周波数表示が動き出したら指を離します。

(スピード1)

放送のある周波数を探し停止します。別の放送に移るにはもう一回押します。

●マニュアルチューニング

(スピード2)

ボタンを、ポンと押します。

押すたびに1ステップずつ周波数が変わります。

(スピード3)

ボタンを押しつづけます。

周波数が速く変わります。指を離すと停止します。

5

同一バンド内の別の放送を受信するときは、④の操作をくり返します。また、他のバンドの放送を受信するときには、②④の操作をくり返します。

隣接局の妨害や混信がある場合

IFバンドボタンを押して「SUPER NARROW」インジケータを点灯させます。

FM放送を受信する場合

- ステレオ放送に雑音が入って聞きづらいときは、マルチプレックスモードボタンを押して「MONO」インジケータを点灯させます。モノラル受信になりますが聞きやすくなります。(リモコンでも操作できます。)
- 放送の電波が強すぎて音がひずむときはRFアッテネーターボタンを押して「RF ATT」インジケータを点灯させます。

モノラル放送、モノラル受信の場合 (リモコンでも操作できます)

AM放送などのモノラル放送受信時や、FMでマルチプレックスモードをMONOにしているとき、SSSボタンを押してインジケータを点灯させると、疑似ステレオの効果が得られます。

シグナルインジケータ



シグナルインジケータが点灯しないときは周波数が合っていないでも受信できません。これはアンテナ端子の入力が弱いためです。アンテナ端子がはずれていないか調べてください。アンテナが接続されていても点灯しないときは、お近くの販売店にご相談のうえ、屋外専用アンテナを接続してください。

■オートチューニングについての注意

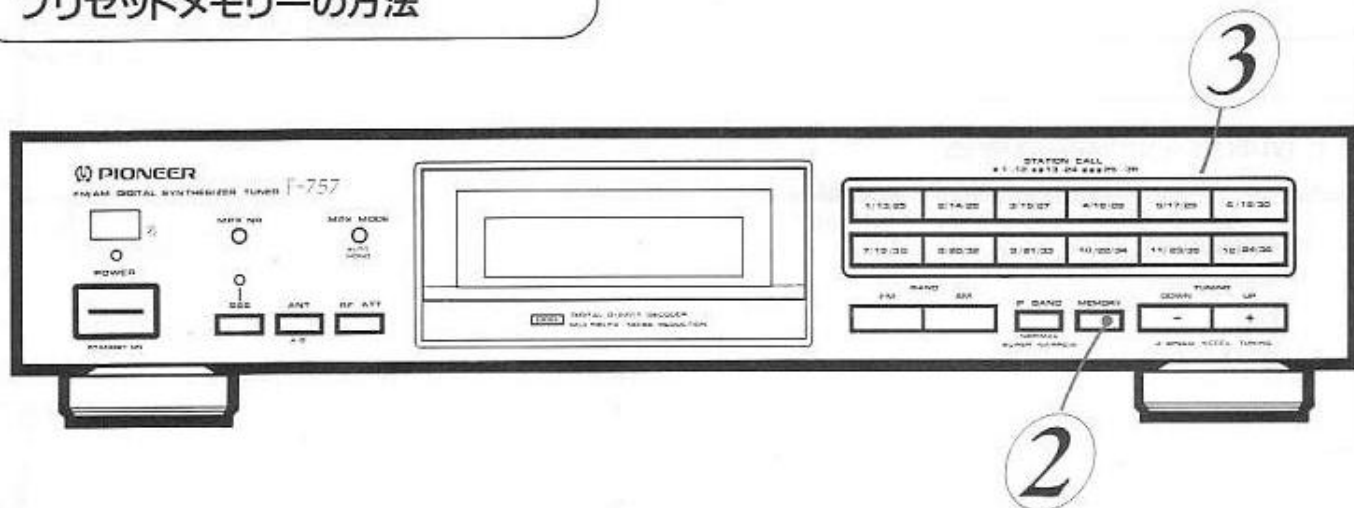
- 本機は高感度のため、ことに夜間では電波伝搬がよいため、微弱な海外放送局でも自動停止することがあります。また、都市雑音でも同様なことが考えられます。
- AM放送受信時、オート選局を使ってプリセットを行う場合にひんぱんに自動停止するようであれば、ループアンテナの向きを変えたり倒すことによって強力なローカル局のみオートチューニングすることができます。プリセット後はループアンテナを最良の向き、位置に戻してください。
- 微弱な放送局はマニュアル選局でプリセットしてください。

FM/AM放送のプリセット選局

■あらかじめプリセットメモリーしておいた放送局をワンタッチで正確に呼びだすことができます。

■ステーションコールボタンにそれぞれ3つつ、合計36局までプリセットできます。

プリセットメモリーの方法



■数字の順に操作してください。

1

“FM/AM放送をきく①～④”(10ページ参照)の操作を行い**希望の放送局をチューニングする**

2

メモリーボタンを押す

MEMORY ←数秒間点灯

- メモリーインジケータが点灯している間のみメモリーできます。プリセット操作中に消灯したときはもう一回ボタンを押してください。点灯中にこのボタンをもう一回押すと、メモリー機能が解除されます。

3

メモリーインジケータが点灯中に**ステーションコールボタンを押す**

- ステーションコールボタンは、1回押し、2回押し、3回押しでそれぞれ1～12、13～24、25～36のステーションナンバーに対応してメモリーされます。

例：9/21/33 ボタンのとき

- 1回押し 9ch表示 — 9が選ばれる。
- 2回押し 21ch表示 — 21が選ばれる。
- 3回押し 33ch表示 — 33が選ばれる。

- ステーションコールボタンを押すと、MEMORYインジケータが数秒間点滅後、消灯するとメモリーが完了します。
- メモリーした放送局は、13ページのステーションメモに書き込んでおくと便利です。

4

他のステーションにプリセットするときには、①～③を繰り返します。

MEMORY インジケータが点灯中に操作できるのは、IFバンド、マルチプレックスモード、SSS、アンテナ切換、RFアッテネーター、マルチプレックスノイズリダクションの各ボタンのみです。他のボタンを操作するとステーションはメモリーできません。

すでに放送局がメモリーされていたステーションコールボタンに新たにメモリーすると、前の放送局は消去されます。

プリセットメモリーでの選局

■数字の順に操作してください。
リモコンでも操作できます。

1

電源スイッチをONにする

2

ききたい放送局のステーションコールボタンを押す

- 1回押すと1～12が呼出されます。
2回押すと13～24が呼出されます。
3回押すと25～36が呼出されます。
- オペレーションディスプレイにステーションナンバーが表示されます。

プリセットの注意

- 長期間使用しないときは電源コードを抜いてください。なお、電源をOFFにしたり電源コードを抜いた場合でも、バックアップコンデンサにより電力を供給していますのでおよそ1か月以内でしたらプリセットした放送局は消去されません。
- プリセットした放送局が消えてしまったらもう一度プリセットしてください。

ラストワンメモリー

- 電源が切れている状態から電源ONにすると、電源をOFFにする前にきいていた放送局を受信します。
- 電源が入っている状態でバンド切換ボタンを押すと、バンドを切り換える前にそのバンドできいた放送局を受信します。

ステーションメモ

ステーションコールボタン	•	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
放送局名													
周波数													
ステーションコールボタン	••	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
放送局名													
周波数													
ステーションコールボタン	•••	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
放送局名													
周波数													

故障?と思うまえに

故障かな?……と思ったら、症状に合わせて下の項目をチェックしてみてください。下の項目をチェックしてもなおらない場合は、アフターサービスの項をお読みのうえ、修理を依頼してください。

症 状	考えられる原因	処 置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを接続していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードをコンセントへ接続する。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●接続コードの接続がまちがっている。 ●アンテナが接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●確実にアンプのTUNER端子へ差し込む。 ●確実に端子につなぐ。
ステーションコールボタンで選局できない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを1か月以上抜いていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●放送局をメモリーしなおす。
雑音が多い (「ジー」、「ザー」という雑音が多い)	<ul style="list-style-type: none"> ●放送局の周波数に合っていない。 ●アンテナが接続されていない。 <p>FMの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アンテナA/B切換スイッチがアンテナに合っていない。 ●付属のT字型アンテナがたばねたままになっている、またはアンテナの向きが悪い。 ●放送局の電波が弱い。 <p>●電波が弱いのにRFアッテネーターをONにしている。</p> <p>●他の機器の雑音が入る(特に自動車を通ると雑音が入る)またはマルチパスが発生している。(マルチパスとは、放送局の電波がアンテナに直接入るものと、山や高い建物に反射して入るものが互いに影響し合い、音がひずんだり、雑音が出る現象です。)</p> <p>AMの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●付属のAMループアンテナの向きが悪い。 ●付属のAMループアンテナが本機と接触している。 ●放送局の電波が弱い。 <p>●他の機器(蛍光灯やモーターを使っている電気製品など)の雑音が入る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●チューニングボタンで正しい周波数にする。 ●確実にアンテナをつなぐ。 <ul style="list-style-type: none"> ●受信する局の電波の方向に合ったアンテナに切り換える。 ●両端をピンと張り、よく聞こえる方向に向けて固定する。 ●付属のT字型アンテナをFM専用の外部アンテナに交換する。 ●マルチプレックスモードスイッチをMONOにする(このときはモノラル再生となる)。 ●RFアッテネーターボタンを押してOFFにする。 ●アンテナの取り付け位置を変えてみる。また、外部アンテナを使用しているときはアンテナの設置場所を道路から離したり、接続ケーブルを75Ωの同軸ケーブルに変える。 <ul style="list-style-type: none"> ●アンテナの方向を変えて、よく聞こえる位置にする。 ●ループアンテナを本体からなるべく離す。 ●AM外部アンテナを設置し、接続する。またアース線をつなぐ。 ●雑音を発生させる機器の使用をやめる、または遠ざける。
放送がステレオなのに、ステレオにならない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電波が弱く、アンテナの入力が不足している。 ●放送周波数に正しく合っていない。 ●マルチプレックスモードスイッチがMONOになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多素子のFM専用アンテナに交換する。 ●正しい周波数に合わせる。 ●スイッチをAUTOにする。
リモコンがきかない。	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンに電池が入っていない。また電池が消耗している。 ●本機と距離がありすぎる。または角度が悪い。 ●本機との間に障害物がある。 ●蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電池を入れる。または新しい電池に変える。 ●リモコンは本機との距離が約7m以内、前面パネルとの角度が左右にそれぞれ30°以内で操作してください。 ●リモコンの操作場所をすらすか、障害物をとり除いて操作する。 ●蛍光灯をリモコン受光部から離す。

●落雷、静電気等、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源スイッチをON/OFFするか、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより、正常に動作します。

アフターサービス

●保証書(別に添付してあります。)

保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、たいせつに保管してください。

●保証期間はご購入日から1年間です。

●補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

●アフターサービス等について おわかりにならないとき

本機に関するご質問、ご相談は最寄りのバイオニアインフォメーションセンター(IC)をご利用ください。ICの所在地、電話番号は付属のサービスネットワークをご覧ください。

●修理を依頼されるとき

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

●保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのバイオニアサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。またはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・型番・ご購入日(製品名:F-757)
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標(建物、公園など)

●保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのバイオニアサービスセンター、サービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

安全にお使いいただくために

●国内でのみご使用ください

本機は日本国内専用仕様です。使用電源は、交流(AC)100Vです。大型クーラー用などの200Vコンセントには接続しないでください。発火を起こすなどたいへん危険です。また船舶などの直流(DC)電源にも使用できません。

●容量以上の接続はやめて

AC OUTLET(電源コンセント)を備えている機器では、他のステレオ機器の電源コードを接続できます。消費電力がパネルに表示された容量を超える電気機器は接続しないでください。機器の故障や火災のおそれがあります。また、テレビなど電源が入ったときに大電流が流れる機器は、テレビを接続できる設計となっている機器以外には接続できません。

●本機に異常が発生したときは

ご使用中に本機から異常な音やにおいがしたときは、すぐに電源スイッチを切り、使用をやめてください。必ず電源コードをコンセントから抜き、バイオニアサービスセンター、サービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検を受けてください。

●電源コードを傷つけないように

電源コードの抜き差しは電源プラグを持って行ってください。コードを引っばったり、ぬれた手で取り扱ったり、ショートや感電のおそれがあります。電源コードを本体や家具などの下に敷いたり物にはさんだりしないでください。また他のコードとつないで結び目を作ったり、往来の激しい場所に放置しないでください。コードを損傷させ、感電や火災のおそれがあります。

●分解しないでください

本機の内部には高電圧がかかっているところがあります。キャビネットをあけての内部点検や改造は感電のおそれがあります。お客様が改造を加えた場合の性能の劣化や故障については、弊社では保証いたしません。

●高温・多湿を避けて、風通しのよい場所へ

直射日光のあたる所やストーブなどの暖房器具のそばに置かないでください。キャビネットや内部部品に悪影響を与えます。また、湿気やほこりの多い場所へ置くこと故障や事故の原因になります。(調理台のそばなど、油煙、蒸気、熱が当たる場所も避けてください。)本機は重量がありますので不安定な台の上などに置かないでください。地震などのとき危険です。

●水や異物はきれい

機器の通風孔や開口部などからヘアピンや釘、硬貨などの金属製のものや紙、マッチなどの燃えやすいものを差し込んだり落としたりしないでください。故障や火災、感電のおそれがあります。機器内に異物や水が入ったときは、バイオニアサービスセンター、サービスステーション、またはお買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検を受けてください。

●長い期間使用しないときは

旅行や外出などで留守にされる場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。不慮の事故で火災をひき起こすおそれがあります。

仕様

FMチューナー部

受信周波数	76~90MHz
実用感度	モノラル: 9.3dBf (0.8 μ V/75 Ω)
SN比	モノラル: 100dB ステレオ: 92dB
高調波歪率	モノラル: 0.008% (100Hz) 0.005% (1kHz) 0.01% (10kHz) ステレオ: 0.01% (100Hz) 0.008% (1kHz) 0.05% (10kHz)
キャプチャレシオ	0.8dB
実効選択度	-75dB (400kHz, NORMAL) 90dB (400kHz, SUPER NARROW) 75dB (300kHz, SUPER NARROW)
ステレオセパレーション	1kHz: 70dB 20Hz~10kHz: 54dB
周波数特性	20Hz~15kHz: \pm 1dB
イメージ妨害比	80dB
IF妨害比	100dB
AM抑圧比	80dB
スプリアス妨害比	80dB
サブキャリア抑圧比	65dB
ミュートイング動作レベル	23.2dBf (4 μ V/75 Ω)
アンテナ	75 Ω 不平衡型
出力端子(出力レベル/出力インピーダンス)	
FM(100%変調)	650mV/900 Ω

●上記の数値は新IHF法による測定です。

AMチューナー部

受信周波数	522~1629kHz
実用感度(付属ループアンテナ)	150 μ V/m
選択度	\pm 9kHz: 40dB
SN比	50dB
イメージ妨害比	40dB
IF妨害比	60dB
アンテナ	ループアンテナ(付属)
出力端子(出力レベル/出力インピーダンス)	
AM(30%変調)	150mV/900 Ω

電源部・その他

電源電圧	AC100V, 50/60Hz
消費電力(電気用品取締法)	16W
スタンバイ時消費電力	5.4W
外形寸法	420×86×316mm
重量	4.1kg

付属品

リモートコントロールユニット	1
単4乾電池(AAA/R03/UM-4)	2
FM T字型アンテナ	1
AMループアンテナ(大型)	1
ピンプラグ付き接続コード	1
変換プラグ	1
サービスネットワーク一覧	1
取扱説明書	1
保証書	1

●上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

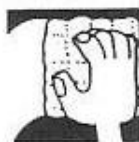
音のエチケット



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

お手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をご使用の際はそれらに添付の注意事項をよくお読みください。